

認知症サポーター養成講座を開催します♪ 無料

新しい認知症観(※)を広めることで、認知症になっても住み易いまちづくりをめざして認知症サポーター養成講座を開催しています。この機会に認知症について学んでみませんか？

今回都合が合わなくても大丈夫！受講者が5名程度いれば、別日にマンション集会所や会社の会議室などに出張開催することもできます！

※認知症になっても、一人一人が住み慣れた地域で仲間と繋がりながら、希望と尊厳を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方

- とき** 3月12日(水) 10:30～12:00
- ところ** 中央区役所 7階 703・704 会議室 (久太郎町 1-2-27)
- 定員** 30名 **対象** どなたでも
- 申込み** 3月6日(木) までに電話にて



講座を受講された方には、
もれなく『認知症サポーターカード』
を贈呈！



受講者の声

- 認知症について少しポジティブに考えられるようになりました。
- 認知症の方の自尊心を傷つけないように、穏やかに接しようと思いました。
- 認知症の方との接し方次第で不安にさせたり、傷つけたりする一方で、正しい対応をすれば安心したり役に立てるということが良くわかりました。

問合せ 中央区認知症強化型地域包括支援センター
(中央区北部地域包括支援センター内)
(農人橋 3-1-3 ドミール堺筋本町 1階)
☎ 06-6944-2116 **FAX** 06-6944-2117



今すぐ確認！我が家の防災 #7

防災出前講座を実施しています

スライドの画像を見ていただきながら、断水時のトイレの使用方法などの実演をまじえての防災講座を実施しています。

受講されたみなさんからは「具体的でわかりやすい」「備蓄の必要性を改めて認識できた」などのご意見をいただいています。

令和6年4月から令和7年2月まで、区内のマンション、事業所など合計27回の防災出前講座を開催してきました。

夜間や土曜日・日曜日の開催も可能です。

みなさんも、ぜひ防災出前講座をご利用ください。

無料です

防災対策＝命を守るため

3つのリスクを回避する

- ① けがをする
- ② ライフラインが停止する
- ③ 物資の入手が困難



最低7日分の災害用備蓄

飲料水の備蓄 大人1人1日3ℓ×1週間分

飲むだけでなく3ℓではありません
非常食の調理にも水は必要です

えっ！
そんなにいるの？

湯せん調理

筒型
カップラーメン
300～340ml

ごはん
非常用アルファ米
110～160ml

温めに水を使うと

どんぶり型
カップラーメン
350～420ml

カップやきそば
460ml



出前講座の詳細は
中央区役所 HP を
ご覧ください



問合せ
市民協働課 (市民協働) 5階 51番
☎ 06-6267-9843
FAX 06-6264-8283

見守る! つながる! 気にかける!

こんにちは！地域包括支援センターです♪

#10 認知症の人とその家族を支える活動をご紹介します！

認知症は、早期発見、早期治療が重要です。早期に発見できれば、認知症と診断されても、暮らしの工夫や周りのお手伝いでご本人らしい生活が続けられます。

今回は、認知症の人とその家族を支える活動の一部をご紹介します。

● 認知症カフェの後方支援

認知症カフェとは、認知症の人やその家族、地域の人、医療や介護の専門職など誰でも参加できる交流の場です。開催主体は住民の方や企業で、認知症の人とその家族が社会と繋がり、認知症の理解を深め合うことで、地域で安心して暮らせるまちになるように後方支援しています。



ももカフェ



ふれあいカフェ

お気軽に
お立ち寄りください！

認知症カフェの
情報が見られます！

大阪市認知症アプリ▼



● 認知症サポーター養成講座 (詳しくは上面で♪)

問合せ 中央区認知症強化型地域包括支援センター
(中央区北部地域包括支援センター内)
(農人橋 3-1-3 ドミール堺筋本町 1階)
☎ 06-6944-2116 **FAX** 06-6944-2117

以下は広告スペースです。